

令和元年9月教育委員会定例会議 議事録

開会日時 令和元年9月26日(木) 午後3時
閉会日時 令和元年9月26日(木) 午後3時18分

場 所 岡崎市役所東庁舎2階大会議室

出席者 教育長 安藤 直哉
教育委員 岡田 京子、福應 謙一、上原 三十三、小出 義信

説明のため出席した職員

小野教育部長、加藤教育監、
神尾教育部次長兼総務課長、二村施設課長、太田学校指導課長、中村社会教育課長

議事録指定職員

保田総務課総務企画係係長、岩月総務課主任主査

日程

日程第1 その他

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について

日程第2 第9号議案

令和2年度教職員定期人事異動方針について

(議題等及び議事の要旨)

■日程第1 その他

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について

学校指導課長 議案書等により説明

安藤教育長 質疑を許可

小出委員 相対として受け取る印象は、常にほとんど良いとして経過していると思う。テストを受ける児童生徒も変わるし色々と変化があると思うが、このテストで判断する限り、経年的に市全体の学力がどう変化しているのか捉えようがあるのか。

学校指導課長 昨年度の状況と今年度の状況を比較して説明。
教育委員会としては、毎年の経年変化を見ながら授業改善を各学校に指導している。例年の状況を見ると、これまででも中学校のほうが大変よくできているという生徒が継続的に出ている。小学校の力をさらに中学校で伸ばしているという結果であると捉えている。

小出委員 本市では小学校から英語について先進的に取り組んできている。これまで小学校で取り組んできていることが、今回の中学

校のテストの成績に何らかの形で反映されているか。

学校指導課長

英語の話すことというところが小学校の学習の成果が出ていると考えている。小学校の英語活動では、「話す・聞く」ということを中心に行っており、これを受けて中学校では、主に「話す」ということに視点を置いた活動（GCT）を年間20時間取り組んできている。小学校での取り組みを引き継いで、中学校でも3年間を通じて計60時間実施し、こうした成果が出ていると考えている。

小出委員

資料を細かく見ると、「情報を正確に聞き取る力がやや弱い」、「情報を正確に聞き取ったり、外国語で表現したりする力がやや弱い」という点があるが、これまでの取り組みからすると、逆の評価のように見えたのだがどうか。

学校指導課長

今回のテストでは、「内容を正確に聞き取る」という部分で評価されている。これまで本市で取り組んできた「聞く」という部分は、コミュニケーションを中心としており、分からない部分を確認したり、何度か聞く機会があったり、大体の内容を聞き取ったりしている。こうしたコミュニケーションをする上で会話の目的に沿って「聞く」というところとの若干の違いがあるかと考えている。

「外国語で表現したりする力」については、本市としても課題があると考えている。テストでは、与えられた内容を自分の考えで決められた数の英語で書くということであった。こういったものは、苦手な部分があると思うので、「書く」という部分をさらに伸ばすことができるように授業改善をする必要があると考えている。

■ 日程第2 第9号議案

令和2年度教職員定期人事異動方針について

学校指導課長

議案書等により概要説明

安藤教育長

質疑を許可

福應委員

本市の位置は三河部でも真ん中に位置していると思うので、近隣の市町との交流人事もしやすいと考えるので、地域的な部分を活かしながら交流を深めてもらいたいと考える。

小出委員

特別支援教育やへき地教育について、教員の配置の適正化ということについてはどういったことを考えながら判断をしているのか。

学校指導課長

若いうちから特別支援教育に携わることにより経験を積んでいくことが必要であると考えている。若手も中間層も含めて、年齢の偏りがないような配置をしていくという視点を適正化と考えている。

岡崎市教育委員会会議規則第 14 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

令和元年 10 月 24 日

教育委員会教育長 安藤 直哉

教育長職務代理者 岡田 京子